

HPE SYNERGY 10GB インターコネクトリンク モジュール

Synergy Interconnect Link Modules



概要

コンポーザブルファブリックをベースとしたHPE Synergy 10Gb インターコネクトリンクモジュール (サテライトモジュール)は、コンポーザブル・インフラストラクチャ向けに設計されています。分散型ラックスケール設計に基づき、マスター/サテライトアーキテクチャーを使用して、データセンターネットワーク接続を統合し、ハードウェア数を削減し、複数のHPE Synergyフレーム間のネットワーク帯域幅を拡張します。マスターモジュールには、サテライトモジュールを装備したフレームへの接続を拡大するインテリジェントなネットワーク機能が含まれています。これにより、ToRスイッチが不要となり、コストが大幅に削減されます。コンポーネントを削減すると、データセンターの集約層で使用するポートが少なくなると同時に、ファブリック管理が大幅に簡素化されます。

機能

インターコネクットの固定比率の必要性を抑え、コストと複雑性を大幅に削減

HPE SynergyのコンポーザブルファブリックであるHPE Synergy 10Gb インターコネクトリンクモジュールは、サテライトフレームの接続性をマスターフレームにまで拡張します。マスターフレームへの接続は、ゼロレイテンシケーブルを使用して行われ、インターコネクットの固定比率をリソースのネットワークングプールの変動比率に置き換えます。

マスターモジュールのすべてのメリットが継承されています。HPE Synergy 10Gb インターコネクトリンクモジュールを持つマスターモジュールには、追加サテライトフレームを最大で4つまで接続できます。

マスターモジュールでファームウェアをアップグレードしても、HPE Synergy 10Gb インターコネクトリンクモジュールには影響しません。これにより、マスターモジュールでソフトウェアをアップグレードしても、サテライトフレームへの影響は最小限になります。

サテライトフレームを追加しても、同じマスターモジュールに接続されたHPE Synergyコンピュートモジュール間の各端末間トラフィックのホップ数が増えるわけではありません。マスターフレームは、ホップを1つ持つ最大60のHPE Synergyコンピュートモジュールをサポートできます。

HPE Synergy 10Gb インターコネクトリンクモジュールを搭載したフレームを追加しても、集約スイッチ上のポートは使用されません。

さまざまなエッジネットワークアーキテクチャーにも柔軟に対応

HPE Synergy 10Gb インターコネクトリンクモジュールはエッジインターコネクットのニーズに基づいた異なるアーキテクチャーに適しています。

HPE Synergy向けのHPE バーチャルコネクト SE 40Gb F8モジュールおよびHPE Synergy 40Gb F8スイッチモジュールをサポートしています。



[追加の技術情報、使用可能なモデルとオプションについては、QuickSpecsを参照してください](#)

HPE POINTNEXT SERVICES

HPE Pointnext Servicesは、テクノロジーと専門知識を結集して、お客様のビジネスを前進させ、将来への備えを支援します。

HPE Pointnext Servicesの各種運用サービス

HPE Pointnext Tech Careは、製品に特化した専門家への迅速なアクセス、AI主導のデジタルエクスペリエンス、一般的な技術指導を提供し、継続的なイノベーションを可能にします。より迅速な対応と、より大きな価値を提供するために、ITサポートをゼロから再構築しました。単なる故障の修理とは一線を画しており、より優れた方法を常に探し続けることで、HPE Pointnext Tech Careはビジネス目標の達成にお客様が集中できるようサポートいたします。

HPE Pointnext Complete Careは、総合的なアプローチでIT環境全体を最適化する、エッジからクラウドまでのモジュール式IT環境サービスであり、顧客中心の個人化されたエクスペリエンスを通して、同意されたIT成果とビジネス目標を達成します。これらのサービスはすべて、HPE Pointnext Servicesの専門家チームが担当いたします。

HPE統合およびパフォーマンスサービスでは、個々のニーズ、ワークロード、テクノロジーに基づいたサービスメニューにより、製品ライフサイクルのどの段階でもお客様がユーザーエクスペリエンスをカスタマイズできるようサポートします。

- アドバイス、設計、変革
- 展開
- 統合と移行
- 運用と改善
- 金融サービス
- GreenLake管理サービス
- 廃棄とサニタイズ
- ITトレーニングと自己啓発

その他の関連サービス

HPE Education Servicesは、デジタルトランスフォーメーションに必要なスキルを伸ばそうとしている従業員の皆様の包括的なサービスで支援します。ご不明な点やサポートオプションの詳細については、HPEの営業担当者または認定チャネルパートナーまでお問い合わせください。

Defective Media Retentionは、不具合によってHPEが交換したディスクまたは対象となるSSD/フラッシュドライブを保持できるオプションサービスです。

HPE GREENLAKE

HPE GreenLakeは、IT-as-a-Service市場をリードするHPEのソリューションです。統合型運用モデルにより、データセンター、マルチクラウド、エッジなどの場所を問わず、アプリケーションやデータをハイブリッドクラウドで利用できます。HPE GreenLakeでは、パブリッククラウドサービスとオンプレミス ワークロードに対応するインフラストラクチャの両立を、完全管理型の従量制課金モデルで実現します。

ITファイナンス ソリューションなどその他のサービスについては、[こちら](#)をご覧ください。

適切な購入決定を行います。
プリセールスのスペシャリストにお問
い合わせください。



今すぐチャット



今すぐ共有



アップデートを入手

**Hewlett Packard
Enterprise**

© Copyright 2022 Hewlett Packard Enterprise Development LP. 本書の内容は、将来予告なく変更されることがあります。ヒューレット・パカード エンタープライズ製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対しては責任を負いかねますのでご了承ください。

部品/部材: HPEは、保証対象のハードウェア製品の保守に必要となる、HPEがサポートする交換用部品および部材を提供します。

メーカーの操作マニュアル、製品のQuickSpecs、または製品のテクニカルデータシートに記載された、サポートされている最大ライフタイム、最大使用限度、またはその両方に達した部品およびコンポーネントは、このサービスでは提供、修理、または交換されません。

画像は実際の製品と異なる場合があります。
PSN1008615184)PJA, August, 2022.